This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

01405211-

DIAGNOSING METHOD OF INPUT ABNORMALITY

PUB. NO.: 59-116811 A]

PUBLISHED: July 05, 1984 (19840705)

INVENTOR(s): SUGAYA KAZUYUKI

APPLICANT(s): HITACHI LTD [000510] (A Japanese Company or Corporation), JP

(Japan)

APPL. NO.: 57-225858 [JP 82225858] FILED: December 24, 1982 (19821224)

INTL CLASS: [3] G05B-023/02

JAPIO CLASS: 22.3 (MACHINERY -- Control & Regulation)

JOURNAL: Section: P, Section No. 311, Vol. 08, No. 242, Pg. 137,

November 07, 1984 (19841107)

ABSTRACT

PURPOSE: To secure the soundness of a control system by diagnosing abnormality on the basis of the output signal value of equipment which detects a process variable, or by varying the load impedance of said equipment and using its output variation condition. CONSTITUTION: A resistor 4 and a test switch 3 for by-passing it are provided to the output signal circuit of a transmitter 1. The switch is \bar{n} ormally closed to by- pass the resistor 4. When the switch 3 is opened for impedance of the transmitter 1 increases load diagnosis, the instantaneously, but its output signal has a value before the switch 3 is opened as far as the transmitter 1 is normal and decreases owing to an increase in load impedance when the transmitter is abnormal 1. This phenomenon is utilized for an abnormality diagnosis of the transmitter 1, and the malfunction of a controller is prevented to secure the soundness of the control system.

(9) 日本国特許庁 (JP)

. ⑪特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭59—116811

⑤ Init. Cl.³
G 05 B 23/02

識別記号

庁内整理番号 A 7429-5H 砂公開 昭和59年(1984)7月5日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

匈入力異常診断方法

株式会社日立製作所大みか工場

内

@特 顧 昭57-225858

⑪出 願 人 株式会社日立製作所

②出 願 昭57(1982)12月24日

東京都千代田区丸の内1丁目5

⑩発 明 者 菅谷和幸

番1号

日立市大みか町5丁目2番1号

四代 理 人 弁理士 高橋明夫

明 絽 哲

発明の名称 入力異常診断方法

特許請求の範囲

1. ブロセス変量を検出する手段、このブロセス 変量と予め定められた設定値との偏差を算出する 手段、偏差を比例積分演算する手段、及び該算 手段の出力信号により、調節弁を制御する手段を 有する制御系に於て、上記とは別に、ブロセス変量を検出する手段の出力信号をモニタする手段、 プロセス変量を検出する手段の負荷インピーダンスを変える手段、及び調節弁への出力信号をホールドする手段を設け、ブロセス変量を検出する入力 という真常の有無を診断することを特徴とする入力 異常診断方法。

発明の詳細な説明

〔発明の利用分野〕

本発明社、制御装置の入力信号の異常の有無を、 入力信号レベル及び負荷インピーダンスの変化に よる入力信号の変化により診断する方法に関する。 〔 従来技術〕

第1図の様な、待機系をもつ水位制御を例に、 説明する。タンク水位は、伝送器 A 1 及び伝送器 B2Kより各々検出する。との水位信号を受けて、 制御装置 A 3 、及び制御装置 B 4 は、調節 弁 A 5、 及び調節弁B6を各々動作させ、タンク水位を規 定水位に制御する。 伝送器 A 1 のタンク水位の計 測範囲と、伝送器B2のタンク水位の計測範囲は 異なる。又制御装置 A3と制御装置 B4の水位設 定値は異なる。 すなわち制御装置 A3 で制御しき れず、水位が上昇した場合、待機制御系である制 御装置B4が動作を開始し、水位を規定値に制御 するものである。ととで、伝送器A1、及び伝送 器B1が異常をきたすと、制御装置は誤動作し、 水位を規定値に保つことが出来ない為、伝送器の 出力信号が、正常な信号範囲以外、すなわち上限 又は下限となつたことを検出し制御装置の出力を ホールドし、水位の変動を抑える方法がある。し かしとの方法では、伝送器 A 1 については、上限、 伝送器 B 2 については下限は伝送器の異常と判断 するととができない。又伝送器の出力信号が規定

範囲内にある場合、その信号が正常か否かは判断 できない。

(発明の目的)

本発明は、プロセス変量を検出する機器の異常 の有無を、診断することにより、 制御系の健全性 を確保することにある。

〔発明の概要〕

本発明は、プロセス変量を検出する機器の出力 信号値により、又プロセス変量を検出する機器の 負荷インピーダンスを変化させ、その出力変化状 況により異常の有無を診断する。

[発明の災施例]

本発明の実施例を第2図により説明する。

伝送器 A 1 の出力信号が、規定範囲以下(下限)となつた場合、及び、規定範囲以上(上限)となり、かつ、伝送器 B 2 の出力信号が伝送器 A 1 の 1 0 0 % 川力相当(b %)以下である場合、伝送器 A 1 が共常であると判断する方法。

同様に、伝送器 B 1 の異常は、その出力信号が 上限となつた場合、及び、下限となり、かつ伝送 (3)

第2図は本発明の一実施例の伝送器の出力信号レベルによる異常診断方法の説明図、第3図は同じ く伝送器の出力負荷インピーダンスを変化させる ことによる異常診断方法の説明図である。

1 … 伝送器 A 、 2 … 伝送器 B 、 3 … 制御裝置 A 、 4 … 制御装置 B 、 6 … 制御裝置 B

代理人 弁理士 高橋明明

器 A 1 の出力が、 a %以上である場合に異常と判断する。

また、第3図により説明する。

伝送器1の出力信号回路に、抵抗器4及び、とれをパイパスするテストスイッチ3を設ける。通常はテストスイッチ3を閉し、抵抗器4を、パイパスしておく。以下診断方法について述べる。テストスイッチ3を開させると、伝送器1の負荷インピーダンスは、瞬間的に増加するが、伝送器1が正常であれば、その出力信号は、テストスイッチ3を開する前の値になる検動作するが、異常であれば、その出力信号は、負荷インピーダンスが増加したことにより減少する。この現象により、伝送器1の異常診断が行える。

〔発明の効果〕

本発明によれば、制御装置の入力信号の異常の 有無を、発見することができるので、制御装置の 誤動作を防止することができる。

図面の簡単な説明

第1図は、待機系をもつタンク水位制御系統図、

第1回



